

地域おこし協力隊がゆく

石川伊佐男（地域おこし協力隊）

私たち「地域おこし協力隊」3人は、昨年秋から仁淀川町に居を移し活動が始まりました。4ヵ月を過ぎましたが、町の姿を皆さんから教えていただいている段階だと思っています。

そんな私たちの活動の一つが、各地区の行事への参加です。よそ者の私たちが地元の行事に参加させていただくと、皆さんが優しい声をかけてくださり「ひとのよろしさ」を感じる地元の方との交流に感謝の気持ちでいっぱいです。

私は何かで感謝の気持ちを表すことができないかと思い、池川自然学園内にピザ窯を作製しています。これを使い「地元の皆さんにおいしい手作りピザでおもてなしができる!」「子どもたちと地元の食材を使って手作りピザ教室ができる!」「キャンプなど野外体験活動のイベントで活用できる!…」いろいろなできるを思い描いています。

さらにそんな交流が町外の方、観光客や移住を考えている方などを巻き込んでできれば、仁淀川

町の良さをもっと体感してもらえることになると思うのです。

今後も皆さんにご指導いただきながら、いろいろな人との楽しい交流ができる場面をもっと提案したいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

材料は学園内にあるもったいない物（使われていない物や捨てるような物）、池川地区の残石土、また吾川興産(株)さん、金光鉄工(株)さん、黒川石材店さん、池川教育事務所さんから材料の一部を頂いております。この紙面をお借りし、感謝申し上げます。



3月中には完成予定です。

子どもの読書活動支援員便り

☆図書のある町内施設のご案内

- ・中央公民館（2階ロビー、小鳥の巣図書室、3階図書室）
- ・池川保健福祉センター2階（多目的ホール手前左）
- ・仁淀教育事務所
- ・長者出張所

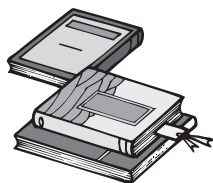
利用案内

平日9時～17時（土日祝休み）

閲覧・貸し出しなどご利用は無料です。

図書の予約、県立図書館への返却サービスなどは中央公民館のみ可能です。

お気軽にご利用ください。



☆仁淀川町の中学生がすすめる一冊

第8回目のおすすめの図書はこちらです。

1.『きみを守るためにぼくは夢をみる』

白倉由美著 講談社刊

*漫画家、ラジオ番組などのプロデューサーなどを経て現在は小説のみに専念している著者の

初の児童文学作品。思春期の少年少女の心情を繊細なタッチで描いた作品が中心で、作品によっていくつかのペンネームが存在する。

・池川中学校2年 梅木理紗さん

おすすめの理由 「わたし、大人になるのがこわかった」この言葉が心にしみました。この本は私を勇気づけ、そして心境の変化をさせてくれた1冊です。



2.『身代わり伯爵シリーズ』(全12冊既刊)

清家未森著 角川書店刊

*少女向けシリーズ小説（ライトノベル）。角川ビーンズ文庫より短編集を含めシリーズで出版されている。柴田五十鈴によりマンガ化され、ドラマCD化もされている。



・池川中学校2年 山中 滯さん

おすすめの理由 双子の兄フレッドの身代わりで、王女の騎士団団長になったミレーユが護衛のリヒャルトと恋をしていく展開がおもしろかったです。

雪山にはじける笑顔・名野川小「スキー教室」

1月21日に久万高原町で教育研究所の出前授業「スキー教室」が開催されました。名野川小学校では、平成15年度から毎年スキー遠足に行っています。本年度は教育研究所の事業として、保護者らの協力のもと、児童20人がスキーを体験しました。

当日の9時半過ぎから、技術別のスキー教室が始まりました。高学年の児童は、1年生から体験しているので、すでに上手に滑ることができます。少し練習した後、山頂に向かうリフトに乗り、きれいなシュプールを描いて気持ち良さそうに滑っていました。低学年は、ふもとで指導員からスキーの基礎を学び、止まる練習や左右に曲がる練習をしました。数時間で、とても上手に滑ることができるようになり、指導員に褒められて、嬉しそうにほほ笑む姿も見られました。

本町からスキー場へは近く、地域性を生かした学校行事だと思います。寒さを忘れるほど、楽しそうな子どもたちの笑顔が印象的でした。



仁淀高校便り

地域こだわり取り組んだ成果発表

1月20日 仁淀高校で「総合的な学習の時間発表会」を開催し、六人の生徒一人一人が、一年間の取り組みを発表しました。

仁淀高校では、平成十五年度の総合的な学習の時間開始以来、講座名を「仁淀高校プロジェクト」とし、テーマを「自分を知り、地域を知る。～仁淀川町にふれる～」と設定して取り組んできました。積極的に地域に関わり地域にこだわった活動も、閉校を迎える今年で最後となりました。

今年度は生徒数六人という少数でしたが、実際にフィールドワーク（野外調査）に出向き、地域を「体験」することを中心に活動を続けてきました。

茶畑整備から茶摘み、大尾のマツシユルム農家見学、仁淀・吾川・池川の三つのグループに分かれてのフィールドワーク、ふるさとインターンシップに参加した大学生と地域活性化について企画立案、八年前から継続してきた仁淀川・長者川の水質調査、フードプラン工場見学、岩戸の尾崎製紙所で手漉き和紙「土佐清帳紙」の製造過程の見学など様々な活動を身

総合的な学習の時間発表会

近に見せていただきました。
地域にありながら初めて知る世界も多く、仁淀川町のいろいろな面に触れることができました。卒業後は全員が仁淀川町を離れますが「総合的な学習の時間」で学んだことは生徒のふるさとへの思い入れを一層深くしてくれたのではないでしょう
か。

最後になりましたが、これまで本校の活動にご協力いただいた地域の皆さまに心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。





子宮がんには、子宮の入り口にできる「子宮頸がん」と、子宮本体(子宮体部)の内膜にできる「子宮体がん」の二種類があります。日本では「子宮頸がん」にかかる方が多く、仁淀川町で実施される子宮がん検診は「子宮頸がん検診」になります。

子宮頸がんとは

子宮頸がんは、三十〜四十歳代に多く、最近では特に二十〜三十歳代で急増しています。初期には症状がないことが多く、進行に伴い、月経とは無関係な不正出血、

『子宮頸がんは予防できるがんです ～受けましょう!「がん検診」と「予防接種」』

血、性行為の際の出血、異常なおりものの増加などがみられるようになります。さらに進行すると、排尿障害や下腹部痛などが出る場合もあります。子宮頸がんは他のがんと違い、その原因が解明されているがんで、それゆえに予防が可能な病気といわれます。

原因はウイルスです

子宮頸がんは、発がん性のヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスの持続感染が原因で発症します。ヒトパピローマウイルスはおよそ百種類ほどの型がありますが、子宮頸がんの原因となるのは、十五種類の悪性度の高い型(発がんしやすい型)です。多くの場合、性交渉によって感染すると考えられています。女性の七〜八割が一生に一度は感染するといわれるほど、ごくありふれたウイルスです。感染しても九割近くの人は一〜二年のうちに免疫などによって自然消滅され

ますが、約1%未満の方が、子宮頸がんを発症すると言われています。



予防するには

①子宮頸がん予防ワクチン

現在、日本で認可されている子宮頸がん予防ワクチンは、発がん性ウイルスのうち、日本人の子宮頸がんの五十〜七十%で見つかる十六型および十八型の二つのタイプに対応したものです。接種対象は、十歳以上の女性ですが、先月号の広報でお知らせしたとおり、一部の年齢の方には、無料で接種できる制度があります。かかりつけ医とご相談の上、接種するようにしましょう。また、ワクチンですべての発がん性のウイルスの感染を防ぐことは難しいため、ワクチン接種後も二十歳を過ぎたら二年に一回は子宮頸がん検診の受診が必要です。

②定期的に検診を受けましょう

子宮頸がん検診で行われているのは「細胞診」と呼ばれる検査です。これは子宮頸部の細胞を綿棒やブラシなどで軽くこすって採取し、顕微鏡で細胞を見るものです。

また、子宮の形、大きさ、位置、表面の状態、炎症の有無などを医師が内診して確認します。

平成二十三年度の総合健診の日程は、先月号の広報でお知らせしましたが、二十歳以上(平成二十四年三月三十一日現在)で昨年度未受診の方を対象に、子宮がん検診を無料で実施しています。

また、二十、二十五、三十、三十五、四十歳の節目の年齢の方は、医療機関で無料で検診が受けられるクーポン券を利用することもできます。(詳しくは担当課までお問い合わせください)

定期的な検診によって、がんを見つけるのではなく、がんになる前の段階(前がん病変)で見つけることが

大切です。症状がなくても、一〜二年に一度は、検診を欠かさずに受けるようにしましょう。

なお、子宮体がんはがんになる前や初期の段階で九割の人に「不正出血」が起こるとされています。不正出血等の症状がある場合は、速やかに婦人科で受診することをお勧めします。

☆子宮がん検診・子宮頸がん予防接種に関するお問い合わせは:

仁淀川町役場保健福祉課
☎ 35・0888

池川総合支所健康福祉課
☎ 34・2321

仁淀総合支所健康福祉課
☎ 32・1132

